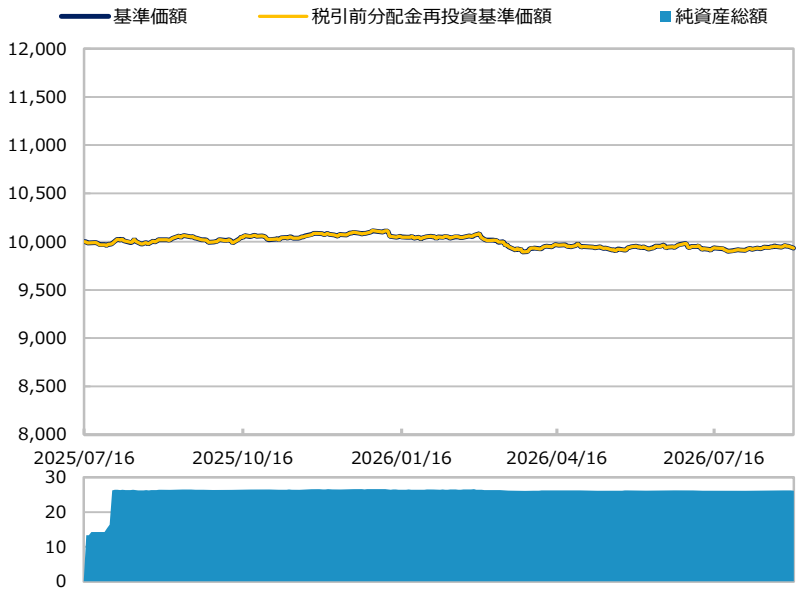
マンスリー・レポート

ヌビーン・ＣＭＢＳインカムファンド２０２５－０７（為替ヘッジあり）（限定追加型）

追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2026年08月31日

ファンド設定日：2025年07月17日　　日経新聞掲載名：CM2507あり

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	9,932	+20
純資産総額（百万円）	2,617	+5

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
１カ月	2026/07/31	0.2
３カ月	2026/05/29	-0.1
６カ月	2026/02/27	-1.3
１年	2025/08/29	-0.9
３年		
設定来	2025/07/17	-0.7

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ 換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2026/08/19	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入マザーファンド	99.9	+0.8
現金等	0.1	-0.8
合計	100.0	0.0
為替ヘッジ比率	100.7	-1.5

※ 組入マザーファンドの正式名称は「ヌビーン・CMBSインカム・マザーファンド」です。
※ 為替ヘッジ比率は為替予約の邦貨換算を外貨建資産の邦貨換算額で除して算出しています。

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
CMBS等	+51	+39	+12
為替	-22	－	－
分配金	0	－	－
その他	-9	－	－
合計	+20	+39	+12

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用

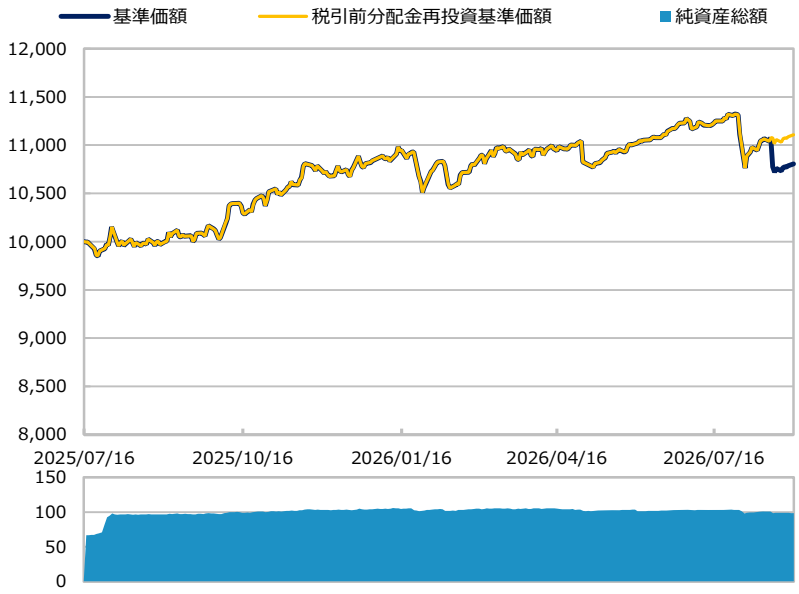
三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.

ヌビーン・ＣＭＢＳインカムファンド２０２５－０７（為替ヘッジなし）（限定追加型）

追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2026年08月31日

ファンド設定日：2025年07月17日　　日経新聞掲載名：CM2507なし

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	10,807	-303
純資産総額（百万円）	9,846	-286

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
１カ月	2026/07/31	-0.0
３カ月	2026/05/29	1.0
６カ月	2026/02/27	2.9
１年	2025/08/29	11.4
３年		
設定来	2025/07/17	11.1

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ 換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2026/08/19	300
設定来累計		300

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入マザーファンド	99.9	-0.6
現金等	0.1	+0.6
合計	100.0	0.0

※ 組入マザーファンドの正式名称は「ヌビーン・CMBSインカム・マザーファンド」です。

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
CMBS等	+58	+44	+14
為替	-49	－	－
分配金	-300	－	－
その他	-11	－	－
合計	-303	+44	+14

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

■設定・運用

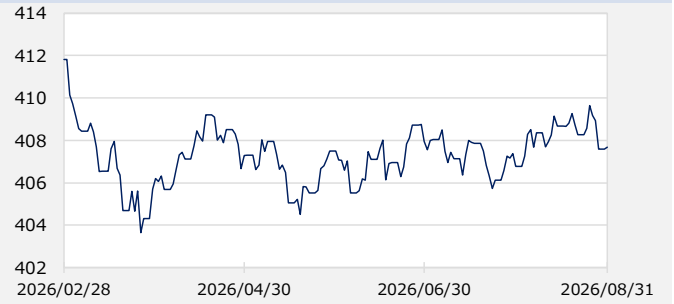
三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.

ヌビーン・ＣＭＢＳインカムファンド２０２５－０７（為替ヘッジあり）（限定追加型）／（為替ヘッジなし）（限定追加型）

追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2026年08月31日

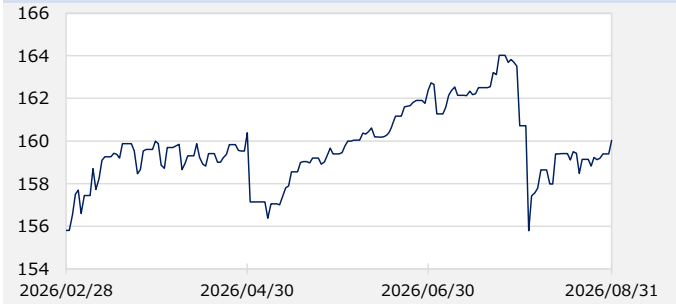
市場動向

ICE BofA3-5年米国固定金利型CMBS指数



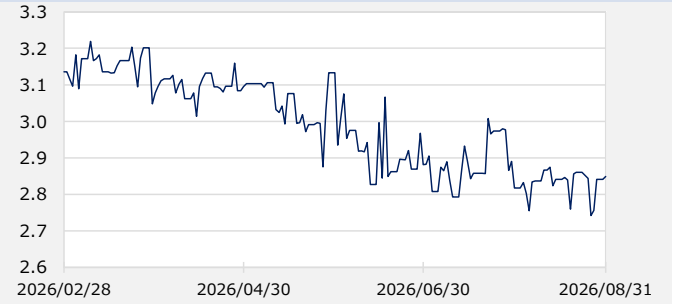
当月末：407.7　前月末：406.8　騰落率：0.2%

円/アメリカドル（円）



当月末：160.0　前月末：160.7　騰落率：-0.4%

アメリカドル ヘッジコスト（%）



当月末：2.85%　前月末：2.82%　変化幅：0.03%

※ Bloomberg等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。
※ インデックス等は注記がある場合を除き、原則として現地通貨ベースで表示しています。
※ 為替レートは一般社団法人資産運用業協会が発表する仲値（TTM）です。
※ ヘッジコストは該当通貨の対円のスポットレートと1ヵ月物フォワードレートを用いて算出し年率換算した値です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

■設定・運用
三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.

ヌビーン・ＣＭＢＳインカムファンド２０２５－０７（為替ヘッジあり）（限定追加型）／（為替ヘッジなし）（限定追加型）

追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2026年08月31日

※ このページは、「ヌビーン・CMBSインカム・マザーファンド」について、ヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

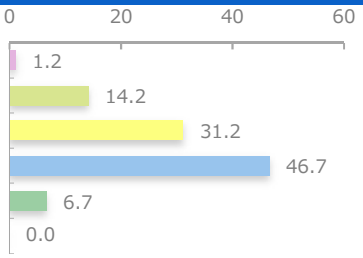
ポートフォリオ特性値

	当月末	前月比
クーポン（%）	4.1	-0.0
実効デュレーション（年）	2.5	-0.1
残存年数（年）	2.7	-0.1
利回り（%）	10.0	+0.2
平均ローン数	39.4	+0.1
平均価格（米ドル）	86.4	-0.2
平均格付け	BBB+	BBB+

※ その他債券および現金等を除いて算出しています。
※ 各組入CMBSトランシェの数値を加重平均した値です。
※ 残存年数は、ヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーの予想ベースです。
※ 利回りはヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーの予想に基づく最低利回りです。
※ 平均ローン数は、各組入CMBSトランシェの裏付資産のローン本数を、組入比率で加重平均して計算したものです。
※ 格付けは投資CMBSに対する主要格付機関の格付けに基づいており、ファンドにかかる格付けではありません。
※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

組入CMBSトランシェの格付構成比率（%）

	当月末	前月比
AAA	1.2	-2.1
AA	14.2	+0.5
A	31.2	-0.1
BBB	46.7	+1.6
BB以下	6.7	+0.2
その他	0.0	0.0



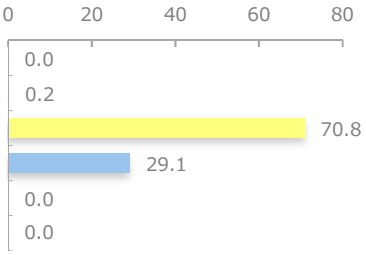
※ 格付けは主要格付機関による分類です。
※ 組入CMBSトランシェの時価総額合計を100%として算出しています。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
CMBS	98.6	-1.3
その他債券	0.0	0.0
現金等	1.4	+1.3
合計	100.0	0.0

組入CMBSトランシェの残存年数構成比率（%）

	当月末	前月比
1年未満	0.0	0.0
1-2年	0.2	+0.2
2-3年	70.8	+9.2
3-4年	29.1	-9.4
4-5年	0.0	0.0
5年以上	0.0	0.0



※ 残存年数はヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーの予想ベースです。
※ 組入CMBSトランシェの時価総額合計を100%として算出しています。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入CMBSトランシェおよびその他債券ならびに現金等の時価総額合計を100%として計算した値です。

ヌビーン・ＣＭＢＳインカムファンド２０２５－０７（為替ヘッジあり）（限定追加型）／（為替ヘッジなし）（限定追加型）

追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2026年08月31日

※ このページは、「ヌビーン・CMBSインカム・マザーファンド」について、ヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

組入上位10銘柄　（組入銘柄数 48）

	銘柄名	通貨	格付け	利回り（%）	クーポン（%）	予想償還日（年/月/日）	比率（%）
1	GS Mortgage Securities Trust 2017-GS6	アメリカドル	A-	9.6	3.869	2028/9/7	4.6
2	JPMCC Commercial Mortgage Securities Trust 2019-COR4	アメリカドル	A	8.9	4.440	2028/12/7	4.6
3	Benchmark 2018-B3 Mortgage Trust	アメリカドル	BBB-	9.1	4.553	2030/3/8	4.5
4	GS Mortgage Securities Trust 2018-GS9	アメリカドル	BBB-	9.9	4.486	2029/3/8	4.5
5	CSAIL 2019-C17 Commercial Mortgage Trust	アメリカドル	AA-	8.0	3.480	2029/9/14	4.3
6	Benchmark 2019-B10 Mortgage Trust	アメリカドル	BBB-	11.8	3.750	2029/3/15	3.9
7	Benchmark 2019-B9 Mortgage Trust	アメリカドル	BBB-	11.3	4.971	2029/1/12	3.7
8	BANK 2019-BNK20	アメリカドル	BBB-	13.5	3.766	2029/8/23	3.7
9	BANK 2018-BNK14	アメリカドル	A-	9.5	4.618	2028/9/14	3.5
10	GS Mortgage Securities Trust 2017-GS7	アメリカドル	BBB	8.7	4.236	2028/10/6	3.5

※ 格付けは主要格付機関による分類です。
※ 利回りはヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーの予想に基づく最低利回りです。
※ 予想償還日はヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーの予想ベースです。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入CMBSトランシェおよびその他債券ならびに現金等の時価総額合計を100%として計算した値です。

ヌビーン・ＣＭＢＳインカムファンド２０２５－０７（為替ヘッジあり）（限定追加型）／（為替ヘッジなし）（限定追加型）

追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2026年08月31日

※ このページは、「ヌビーン・CMBSインカム・マザーファンド」について、ヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

米国の長期金利（10年国債利回り）は前月末と比較して概ね横ばいとなりました。中東情勢の不透明感に伴う原油価格の上昇が金利上昇要因となる一方、米財務省が長期国債買い戻しの増額を発表したことなどが金利低下要因となり一進一退となりました。月末にかけてはFRB（米連邦準備制度理事会）議長がインフレ高止まりへの警戒を示し利上げ観測が高まったことなどから金利が上昇しました。

CMBS（商業用不動産担保証券）市場のファンダメンタルズ（基礎的条件）は改善傾向が続いています。不動産価格は依然として以前のピークを大きく下回っているものの、価格の底値は確認され、取引量も増加しています。CRE（商業用不動産）分野において懸念されていたネガティブな事態が現実化しなかったことを背景にスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小し、CMBS市場のバリュエーション（投資価値評価）は2024年・2025年のトレンドを維持しています。7月の賃料延滞率情報では、オフィスセクターでは延滞率が高い状態が続いていますが、一方でマルチファミリー、ホテル・宿泊、リテール、インダストリアルの各セクターの延滞率は相対的に低く、安定したキャッシュフロー環境が続いています。新発債市場は活況で、堅調な需要とセンチメント（心理）を背景に発行額は堅調に推移しており、2025年の過去最高額に並ぶかそれを上回るペースです。

（為替）米ドル/円は上昇しました。原油価格上昇による日本の貿易赤字拡大懸念などを背景に円安傾向となりました。その後、前述の長期国債買い戻し増額の発表を受けた金利低下から、一時米ドル安となりましたが、月末にかけてはFRB議長のタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的な発言などを背景に米ドル高が進みました。

＜運用状況＞

引き続きクオリティが高く、利回りが高位な銘柄で構成されたポートフォリオを維持しています。格付別構成比率は、利回り面で投資妙味が大きいBBB格、A格の比率が高くなっている一方、AAA格、AA格も組み入れるなど、バランスの取れたポートフォリオとなっています。利回りが比較的高い残存年数5年未満の既発債を組み入れることにより、金利リスクは相対的に抑制されています。

＜見通しと方針＞

米国では、インフレ率の高止まりが続くとみられ、FRBによる利上げの可能性が高まっていると考えます。このような環境のなかで、長期金利は上昇に向かうと予想します。CMBS市場において第4四半期に比較的多くの満期償還が予定されており、動向を注視します。当社は、単に市場全体へのエクスポージャーを保有することへの対価を得るよりも、担保の質やディール構造の良さに対して対価を得る投資が選好される状況と考えております。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

ヌビーン・ＣＭＢＳインカムファンド２０２５－０７（為替ヘッジあり）（限定追加型）／（為替ヘッジなし）（限定追加型）

追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2026年08月31日

※ このページは、「ヌビーン・CMBSインカム・マザーファンド」について、ヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

年末にかけ、銘柄選定がより明確なリターンの源泉になるとみています。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

■設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.

ヌビーン・ＣＭＢＳインカムファンド２０２５－０７（為替ヘッジあり）（限定追加型）／（為替ヘッジなし）（限定追加型）

追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2026年08月31日

ファンドの特色

※ 各ファンドの略称として、それぞれ以下のようにいうことがあります。
ヌビーン・CMBSインカムファンド2025－07（為替ヘッジあり）（限定追加型）：（為替ヘッジあり）
ヌビーン・CMBSインカムファンド2025－07（為替ヘッジなし）（限定追加型）：（為替ヘッジなし）

1. ヌビーン・CMBSインカム・マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）への投資を通じて、主として米国のCMBS（商業用不動産担保証券）等に投資します。
●取得時において、主要格付機関による格付けがBBB格＊1相当以上のCMBS等に投資します。
＊1 格付記号は、一般的な長期債務格付けを表示していますが、格付機関により異なる記号を使用している場合があります。
※当初設定時およびファンドの信託期間終了日までの期間が短い場合には、国債等への投資を行うことがあります。

●CMBS（Commercial Mortgage Backed Securities）は資産担保証券（ABS）の一種で、ホテル、ショッピング・モール、オフィスビルなどの商業用不動産を担保とした商業用不動産ローンを裏付資産としています。
一般的にCMBSは、単一の不動産ローン（担保不動産は単一もしくは複数となる）を裏付資産とするものと、複数の不動産ローン（担保不動産は複数となる）を裏付資産とするもの（コンデュイット型CMBS）があります。
当ファンドはコンデュイット型CMBSを投資対象とします。

2. 原則として、ファンドの信託期間終了日前に償還＊2を迎えると想定するCMBS等に投資します。
●保有しているCMBS等がファンドの信託期間の途中で償還＊2となった場合や保有しているCMBS等を売却した場合には、信託期間終了日前に償還＊2を迎えると想定する別のCMBS等へ再投資を行います。
※再投資するCMBS等の利回りが当初投資時より低下する場合があります。
※ファンドの信託期間終了日が近い場合には、CMBSおよび国債等への再投資を行わないことがあります。
●保有しているCMBS等の信用リスク、ファンドの信託期間や換金対応等の観点から、途中売却する場合があります。
＊2 期限前償還を含みます。

3. 実質的な運用は、ヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーが行います。
●マザーファンドの運用の指図に関する権限の一部を、ヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーに委託します。

4. 対円での為替ヘッジの有無により、（為替ヘッジあり）と（為替ヘッジなし）の2つのファンドからお選びいただけます。
（為替ヘッジあり）
●実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。
●対円での為替ヘッジを行う際、円の短期金利がヘッジ対象通貨の短期金利を下回っている場合、その金利差に相当する為替ヘッジコストがかかります。短期金利の変動等により、為替ヘッジコストも変動します。
（為替ヘッジなし）
●実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
●基準価額は為替変動の影響を受けます。
※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

5. 信託期間約5年の限定追加型の投資信託です。
●信託期間は2025年7月17日から2030年8月19日までです。
●ご購入のお申込みは2025年7月30日までです。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

■設定・運用
三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

ヌビーン・ＣＭＢＳインカムファンド２０２５－０７（為替ヘッジあり）（限定追加型）／（為替ヘッジなし）（限定追加型）

追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2026年08月31日

投資リスク

基準価額の変動要因

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
●運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
●投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
●当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ CMBS市場リスク

【CMBSの価格の下落は、基準価額の下落要因です】
一般にCMBS（商業用不動産担保証券）は、内外の経済情勢等の影響による金利の変動を受けて価格が変動します。通常、金利が上昇するとCMBSの価格は下落します。
商業用不動産の評価額の変動、空室率や賃料の状況、裏付資産である商業用不動産ローンの利息等の支払いに影響を及ぼす商業用不動産からのキャッシュフローの変化等によってもその価格は変動します。CMBSの格付けが引き下げられる場合もCMBSの価格が下落するおそれがあります。金融危機等のクレジット環境が悪化する場合、CMBSの価格は、投資適格債券等に比べて下落幅が大きくなることがあります。また、市況環境の悪化等によりCMBSが裏付資産とするローンにおいて返済期日が延長された場合、CMBSの下位クラス等においても償還が延長され、当該クラスの価格が急激に下落することがあります。
CMBSの価格の下落はファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、価格の変動幅は、CMBS内でのクラス、残存期間、クーポン条件等により、CMBSごとに異なります。

■ 債券市場リスク

【債券の価格の下落は、基準価額の下落要因です】
一般に債券は内外の経済情勢等の影響による金利の変動を受けて価格が変動します。通常、金利が上昇すると債券価格は下落します。また、格付けが引き下げられる場合も債券価格が下落するおそれがあります。債券価格の下落はファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、価格の変動幅は、債券の種類、格付け、残存期間、利払いのしくみの違い等により、債券ごとに異なります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】
ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。
CMBSの裏付資産である商業用不動産ローンの借り手が債務不履行に陥った場合やそのおそれがある場合、CMBSの利払いの遅延や元本の償還が滞る債務不履行が発生あるいは予想される場合、当該CMBSの価格が下落し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、CMBSにおいて当該債務不履行が発生した場合には、利払いや元本の償還は、一般的に格付けの上位クラスから優先されるため、ファンドが投資しているクラスによっては、投資資金全額の回収ができないまたは回収に時間がかかるリスクがあります。

■ 為替変動リスク

（為替ヘッジあり）
【為替ヘッジにより、円高が基準価額に与える影響は限定的です】
外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けますが、原則として対円での為替ヘッジを行うため、その影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。なお、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。また、需給要因等によっては金利差相当分以上にヘッジコストがかかる場合があります。

（為替ヘッジなし）
【円高は基準価額の下落要因です】
外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

ヌビーン・ＣＭＢＳインカムファンド２０２５－０７（為替ヘッジあり）（限定追加型）／（為替ヘッジなし）（限定追加型）

投資リスク

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】
海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】
有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。
CMBSは、株式や国債・投資適格社債等に比べて相対的に流動性が低いと考えられます。そのため、市場の混乱時等には機動的な売買ができない可能性があり、売却時においても本来想定される投資価値と乖離した価格でしか取引できない場合があります。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

○ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

○ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

○ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

● CMBSは、一般的に、期限前償還が禁止される期間（ロックアウト期間）や期限前償還に対するペナルティ（イールドメンテナンス条項）が設けられるなど、期限前償還が制限されています。ただし、裏付資産となる商業用不動産ローンの返済期日が近くなると、当該制限が適用されなくなることにより、CMBSの期限前償還が行われる場合があります。また、金利低下局面やローンの担保不動産の価値が大幅に上昇している場合は、ローンの借換えによりCMBSの期限前償還が発生しやすい状況となります。期限前償還が行われると、予定されていた利払いの一部が得られないことがあります。

● ファンドは、厳選されたCMBSに投資するため、多くの銘柄に分散投資を行った場合と比較して、同一CMBS銘柄の組入比率が高くなることや、裏付資産となる商業用不動産ローンにおいて特定の種類や地域の担保不動産が多くなることがあり、相対的に基準価額の変動が大きくなることがあります。
ファンドは保有するCMBSが信託期間中に償還（期限前償還を含みます。）を迎えた場合や保有するCMBSを売却した場合は、別のCMBSや米国債等に再投資を行う場合があり、再投資を行う際に利回りが低下することがあります。また、ファンドの信託期間終了日が近い場合には、米国債も含め投資しない場合があります。

● ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

■設定・運用
三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.

ヌビーン・ＣＭＢＳインカムファンド２０２５－０７（為替ヘッジあり）（限定追加型）／（為替ヘッジなし）（限定追加型）

追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2026年08月31日

※ 当ファンドの購入の申込期間は終了しています。

お申込みメモ

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

信託期間

2030年8月19日まで（2025年7月17日設定）

決算日

毎年8月19日（休業日の場合は翌営業日）※第1期決算日は、2026年8月19日です。

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。
分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。
※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

●課税上は株式投資信託として取り扱われます。
●公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
●当ファンドは、NISAの対象ではありません。
●配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下に当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。
●ニューヨークの銀行の休業日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

○ 信託財産留保額
換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じた額です。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○ 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に年1.188%（税抜き1.08%）の率を乗じた額です。
○ その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
●監査法人等に支払われるファンドの監査費用
●有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
●資産を外国で保管する場合の費用　　等
※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ヌビーン・ＣＭＢＳインカムファンド２０２５－０７（為替ヘッジあり）（限定追加型）／（為替ヘッジなし）（限定追加型）

※ 当ファンドの購入の申込期間は終了しています。

税金

分配時

所得税及び地方税　配当所得として課税　普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税　譲渡所得として課税　換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第399号 加入協会　：　一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ　：　https://www.smd-am.co.jp コールセンター　：　0120－88－2976　［受付時間］午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理を行います。 株式会社SMBC信託銀行
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

ヌビーン・ＣＭＢＳインカムファンド２０２５－０７（為替ヘッジあり）（限定追加型）／（為替ヘッジなし）（限定追加型）

追加型投信／海外／債券　　作成基準日：2026年08月31日

販売会社

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人金融商品取引業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本ＳＴＯ協会	備考
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	○	

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した、受益者の方に情報をお伝えする受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

■設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.